

## 第13 自殺予防対策事業

### 1 自殺予防対策事業の経緯

自殺対策基本法の改正（平成28年4月1日施行）により、市町村自殺対策計画を定めることが明記されたことを受け、本市では平成31年3月に“誰もが生きやすい岡崎市の実現を目指す”ことを基本理念に「いのち支える岡崎市自殺対策計画」を策定した。本計画に基づいて事業を推進し、自殺対策推進協議会及び各種作業部会にて進捗管理を行っている。

### 2 自殺者の動向

	岡崎市		愛知県		国	
	自殺者数 (人)	自殺率 (%)	自殺者数 (人)	自殺率 (%)	自殺者数 (人)	自殺率 (%)
R1年	65	17.4	1,024	14.0	19,425	15.7
R2年	60	16.3	1,113	15.3	20,243	16.4
R3年	64	17.2	1,117	15.4	20,291	16.5

(厚生労働省「人口動態統計」による。自殺者の住所地及び国内日本人のみで計上。)

※自殺率は人口10万対比で算出したもの

### 3 自殺に関する延相談件数

(単位：件)

	総数	20歳未満	20～39歳	40～64歳	65歳以上	不明
電話による相談	63	24	18	15	6	—
面接による相談	19	10	3	6	—	—
訪問による相談	8	—	6	1	1	—
計	90	34	27	22	7	—

※ 精神保健福祉相談再掲

### 4 「いのち支える岡崎市自殺対策計画」進捗管理

平成31年度から令和5年度までを計画期間とする「いのち支える岡崎市自殺対策計画」を推進するために、岡崎市自殺対策推進協議会及び岡崎市自殺対策推進協議会作業部会を開催している。

#### (1) 岡崎市自殺対策推進協議会

(単位：機関)

開催日	内容	参加機関（事務局除く）
9月16日	令和3年度相談事業実績報告 いのち支える岡崎市自殺対策計画の進捗状況報告 岡崎市メンタルヘルスに関する市民意識調査について	12

## (2) 岡崎市自殺対策推進協議会作業部会

### ア 構成員

- (ア) 若年層対策作業部会  
市内各大学・短期大学等の学生対応職員等
- (イ) 生活困窮者対策作業部会  
労働関係機関、司法書士会、障がい者基幹相談支援センター、庁内関係課
- (ウ) 労働関係対策作業部会  
労働関係機関、産業保健関係機関、庁内関係課等
- (エ) 高齢者対策作業部会  
基幹型地域包括支援センター、庁内関係課等
- (オ) 自殺ハイリスク者対策作業部会  
精神科病院、二次・三次医療機関、警察、消防署等

### イ 開催状況

(単位：機関)

開催月	内容	参加機関（事務局除く）				
		若年層 対策	生活困窮者 対策	労働関係 対策	高齢者 対策	自殺ハイリ スク者対策
7月	令和3年度事業報告 令和4年度実施計画報告	5	4	6	3	5
2月	令和4年度重点事業について (実施報告及び意見交換) 市民意識調査進捗状況報告	4	6	5	3	6

## 6 重点対策事業（様々な対象に応じた対策）

### (1) 若年層（40歳未満）対策

#### ア 啓発物による相談先の周知

(単位：枚)

実施時期	内容	対象	配布数
4月	市内大学・専修学校等において、令和4年度入学の学生に相談先カードを配布	学生	1,000
3月	市内大学・専修学校等において卒業生に対し、相談先記載のクリアファイルを配布	学生	1,435

#### イ 生徒学生向けゲートキーパー研修の実施

(単位：人)

開催日	内容	対象	参加者数
6月3日	出前講座「気づいて よりそい つながるいのち」 講師 保健所職員	羽根小学校	295
9月9日	出前講座「気づいて よりそい つながるいのち」 講師 保健所職員	生平小学校	30
12月15日	出前講座「こころの病気について知ろう 気づいて よりそい つながるいのち」 講師 保健所職員	愛知産業大学 三河高校	370

※他1校は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

ウ 教職員向けゲートキーパー研修の実施及びSOSの出し方に関する教育の推進

(単位：人)

開催日	内容	対象	参加者数
7月22日	出前講座「みんなが誰でもゲートキーパー」 講師 三河病院 臨床心理士 和田 浩平 氏	愛知県立農業 大学校教職員	19
8月5日	講演「～学校現場で児童生徒のSOSに「気づき」、「声かけ」、 「傾聴する」ポイント～」 講師 人間環境大学 助教 二宮 有輝 氏	市内小中学校 教職員	124

(2) 生活困窮者対策

ア 関係機関へのゲートキーパー研修

(単位：人)

開催日	内容	対象	参加者数
3月6日	講話 ロールプレイ「みんなが誰でもゲートキーパー」 講師 ゲートキーパーリボン岡崎 大木 和雄氏, 唐澤 育代氏, 江川 純子氏	民生委員・児童委員 主任児童委員	71

イ 連携体制の強化

(単位：部)

実施時期	内容	対象	配布数
通年	「悩みごとの相談一覧表」の配布	関係機関職員	723
通年	「あなたのお悩み相談できます」の配布	一般市民	1,520

(3) 労働関係対策

ア ゲートキーパーと相談先の認知度を増加させるための周知

(単位：か所)

開催時期	内容	対象	設置数
9月、3月	市役所等関係機関にポスター掲示	一般市民	4
通年	郵便局に相談先カードの設置とポスター掲示	一般市民	39
通年	部会委員の所属部署に相談先カードの設置やポスター掲示	労働者	2
3月	働き世代の健康情報メール配信「うつってなあに？」	一般企業	—

イ ラインケア・セルフケアとしてのメンタルヘルス対策及びゲートキーパーとしての人材確保

開催時期	内容 (WEB研修を含む)	対象	回数 (回)	参加者数 (人)
通年	企業向けメンタルヘルス研修	市内事業所	6	132

※企業向けメンタルヘルスWEB研修のチラシを267事業所に配布

(4) 高齢者対策

ア 出前講座による高齢者の地域活動の場におけるゲートキーパー研修

(単位：人)

老人クラブ等高齢者団体から出前講座の依頼なく実施せず。

イ 出前講座による高齢者の生活に関わる職員等に対するゲートキーパー研修

(単位：回)

実施時期	内容	対象	実施状況
通年	出前講座「みんなが誰でもゲートキーパー」 講師 保健所職員	関係機関職員等	2 (WEB 開催実施)

ウ 高齢者の生活に関わる職員等に関するゲートキーパー研修 (単位:人)

開催日	内容	対象	受講者数
3月6日 (再掲)	講話 ロールプレイ「みんなが誰でもゲートキーパー」 講師 ゲートキーパーリボン岡崎 大木 和雄氏 唐澤 育代氏 江川 純子氏	民生委員・児童委員 主任児童委員	71

エ 「生活についてのチェックリスト」送付対象者への普及啓発 (単位:人)

実施時期	内容	対象	対象者数
8月	前年度の特定健康診査未受診者へ送付する「生活についてのチェックリスト」に相談窓口チラシを同封	75歳以上の左記 対象者	10,796

## (5) 自殺ハイリスク者対策

ア 連絡票等による多機関連携

市内の救急病院へ搬送される自殺未遂者の再企図防止のため、連絡票を活用した相談支援事業を展開している。令和3年度から、連絡票以外の簡易な支援連携を確保するため「まめ吉相談カード」を関係機関等に配布している。

イ ハイリスク者支援に関わる支援者への人材養成事業 (単位:人)

開催日	内容	対象	参加者数
1月17日	講話 メンタルヘルスの基礎知識・ゲートキーパーとは 講師 保健所職員	警察署員	30

※労働関係対策の企業向けメンタルヘルス研修からの再掲

## (6) 自死遺族支援

ア 分かち合いの会 (単位:人)

開催日	内容	対象	参加者数
11月13日	リメンバー名古屋自死遺族の会 in 岡崎 (分かち合いの会)	自死遺族等	4

イ 個別支援 (単位:件)

開催月	内容	対象	相談件数
9月、3月	リメンバー名古屋自死遺族の会メンバーによる個別相談	自死遺族等	3

※年間4回予定のうち2回は予約が入らず開催なし。

## 7 その他の対策事業 (いのちを支える対策)

### (1) 普及啓発事業

ア 自殺予防週間 (9月10日～16日)

(ア) 街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(イ) その他の啓発事業

啓発方法	周知人数等
保健所公用車への「眠れてますか？」マグネット貼付	9台
市役所、岡崎げんき館内にポスター掲示	4枚
保健所の各種健診、保健所窓口で啓発物品を配布	200個
職員掲示板でゲートキーパーについて掲載	—

イ 自殺対策強化月間 (3月1日～31日)

(ア) 街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(イ) その他の啓発事業

啓発方法	周知人数等
保健所の各種健診、事業等で啓発物品を配布	480個
岡崎げんき館内トイレでの啓発用トイレトペーパー使用	95個
関係機関でのポスター掲示	5枚
保健所公用車への「眠れてますか？」マグネット貼付	9台
岡崎市公式SNS、市公式ウォーキングアプリ、登録企業・商工会議所への情報配信メールでの情報発信、相談先周知	—
ラジオ局エフエムEGAOにて啓発番組の放送	—

ウ 自殺予防普及啓発事業講演会

(単位：人)

開催日	内容	対象	参加者数
2月22日	講演「コロナ禍でこころを守る」 講師 社会医療法人栗山会 飯田病院 精神科医 野木村 茜氏	一般市民	7

(2) 人材育成事業

(単位：回・人)

実施内容	対象者	実施回数	受講者数
出前講座「みんなが誰でもゲートキーパー」	一般市民、関係機関等	4	176
ゲートキーパー養成研修	民生委員・児童委員、教職員等	2	195
岡崎市公式YouTubeでの動画配信 「みんなが誰でもゲートキーパー」	一般市民	—	—

(3) こころホットライン事業（こころの健康電話相談）

ア 目的

様々な事情や悩みが原因で、孤立感・焦燥感を抱え、心理的に追い込まれたかたの苦しみや悩みを受容し、適切な医療や生活上の助言を行うことによって、自殺予防を推進する。

イ 委託機関

社会福祉法人岡崎市福祉事業団（平成21年度から実施）

（相談員職種：精神保健福祉士、公認心理師、社会福祉士等）

ウ 電話相談受付日時

令和4年4月1日から令和5年3月31日

平日午後1時から午後8時まで（祝日、年末・年始を除く）

午後5時15分以降の相談は2回線対応（平成29年度から実施）

エ 対象者

こころの健康について悩んでいる市民、家族等

オ 相談実績

(ア) 相談件数

(単位：件)

	日中(13時～17時15分)		夜間(17時15分～20時)		計		
	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数	
R2年度	189	975	410	1,359	599	2,334	
R3年度	197	1,009	416	1,377	613	2,386	
R4年度	212	1,035	329	1,318	541	2,353	
内訳	男	127	617	263	739	390	1,356
	女	85	418	66	579	151	997

(イ) 年代別相談件数 (単位：件・%)

年代	実件数		延件数	
10歳代	6	(1.11)	7	(0.3)
20歳代	21	(3.88)	30	(1.27)
30歳代	60	(11.09)	131	(5.57)
40歳代	54	(9.98)	1,137	(48.32)
50歳代	30	(5.55)	470	(19.97)
60歳代	20	(3.7)	133	(5.65)
70歳以上	17	(3.14)	111	(4.72)
その他	333	(61.55)	334	(14.2)
計	541		2,353	

(ウ) 相談内容 (重複あり) (単位：件・%)

内容	男		女		計	
心の健康づくり	1,008	(35.06)	921	(39.48)	1,929	(37.04)
精神疾患の相談	574	(19.96)	456	(19.55)	1,030	(19.78)
アルコール等依存症問題	2	(0.07)	5	(0.21)	7	(0.13)
自殺未遂関連	206	(7.17)	175	(7.5)	381	(7.31)
法律相談 (債務等)	1	(0.03)	5	(0.21)	6	(0.12)
労働関係の相談	21	(0.73)	19	(0.81)	40	(0.77)
身体 の健康相談	62	(2.16)	70	(3)	132	(2.53)
生活保護相談	4	(0.14)	0	(0)	4	(0.08)
虐待等 人権相談	1	(0.03)	4	(0.17)	5	(0.1)
学校・いじめ等相談	4	(0.14)	3	(0.13)	7	(0.13)
職場・メンタルヘルス等相談	10	(0.35)	10	(0.43)	20	(0.38)
子育て相談	3	(0.1)	10	(0.43)	13	(0.25)
孤立予防に関する相談	616	(21.43)	561	(24.05)	1,177	(22.6)
その他	14	(0.49)	29	(1.24)	43	(0.83)
不明	349	(12.14)	65	(2.79)	414	(7.95)
計	2,875		2,333		5,208	

※小数点3位以下四捨五入

## 8 メンタルヘルスに関する市民意識調査

平成30年度に策定した「いのち支える岡崎市自殺対策計画」に基づく岡崎市の自殺対策の現状を評価し、令和5年度の「第2次いのち支える岡崎市自殺対策計画」策定のための基礎資料とするため、「岡崎市メンタルヘルスに関する市民意識調査」「岡崎市メンタルヘルスに関する市民意識調査 (学生版)」を実施した。

	岡崎市メンタルヘルスに関する市民意識調査	岡崎市メンタルヘルスに関する市民意識調査 (学生版)
対象者	市内在住の15歳以上の中から無作為抽出	市内の短大・大学等に通う学生
配布数	5,000人	4,336人
有効回答数	1,832件 (郵送1,160件、WEB672件)	551件 (書面回答142件、WEB409件)
有効回答率	36.6%	12.7%

※学生版の調査は、市内大学等に書面の配布・回収またはWEB調査の周知を依頼